

しんさんしき
晋山式のながれ

とき 平成29年(2017年) 11月4日(土)~5日(日)

せいどう
西堂 : 平田寺大函丈

しんめい
新命 : 観昌寺住職

しゅそ
首座 : 小牧市村中 玉林寺徒弟

べんじ
弁事 : 観昌寺徒弟

新命・首座・弁事は、それぞれ大切な儀式を行います。

弁事は、仏門に入ることを決意し本師から衣ころも さずを授けられる「得度式とくどしき」を行います。

首座は、修行僧の筆頭となり力量を認められ法問を交わす「法戦式ほっせんしき」を行います。

新命は、寺院の中で僧侶を結集けつじゅうし(大勢を一カ所に集め)、一連の修行・儀式を行います。

この「結制けっせい」修行の上、新命は「大和尚」の法階となり、「緋の衣ひ ころも」の着用が許されます。

このような、盛大な儀式が実施できるのも、寺院行持についての皆様の温かいご理解の

賜たまものと存じ上げます。心より御礼申し上げます。

また、晋山式は、檀信徒の皆様をはじめ、地域や関係御寺院などたくさんの方々のご協力により勤め上げていく行持です。皆様方のご参加、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

なお、行持内容は都合により変更される場合があります。

また、行持開始時刻につきましても前後する場合があります。

あらかじめご了承の上、ご覧ください。

2017年1月 観昌寺 作成

弁 事 得 度 式

11月4日（土）午後1時30分

晋山式では、観昌寺長男が得度式に臨み、弁事という大役を担います。

得度式は仏様とのご縁を結ぶ儀式で、禅門に限らず、仏門全てにおいて大切な行事の一つ、本人にとっては、一生で一度きりの行持です。

それまでの家庭生活を離れ、仏様の弟子となるよう

一生懸命に心掛ける修行がこれから始まるのです。

仏様と同じ身なりと作法をとり、仏様の戒律を身につけ、

仏様と同じ動作を心掛ける生活が始まります。

はくえ
白衣を身に着けて本堂に入堂し、ご本尊様、

これまで育ててくれた両親に合掌礼拝し、

仏様の師となる本師と向かい合い、得度の覚悟を確認し、

仏様が身につける衣が授けられます。

その後、本師より仏の戒律を授けられます。



首 座 入 寺 式

11月4日（土）午後2時

首座を任命し、これから、結制に入ることを告げます。

本 則 ・ 配 役 行 茶

11月4日（土）午後3時

この度の、制中の配役を読み上げ、明日の法座（法戦式）を首座に譲ることを告げます。

また、法問の主題（本則）の有り難い説法（提^{ていしょう}唱）を拝聴し、参加されている皆様と一緒にお茶をいただきます。

曹洞宗の修行道場では、おしゃべりは基本的に禁じられており、行持には様々な鳴らし物を合図として利用します。鳴らし物とは、木魚・鐘・太鼓などの音が出る仏具をさし、また、鳴らし物の打ち方にも細かく規則があります。

お茶をいただく際も、修行道場独特の作法で執り行います。是非、ご参加ください。

その後、明日の儀式に備え^{しゅうぎ}習儀（ならし）が行われ、祝麴が振るまわれる予定です。

さんもんしゅうぜんらっけいほうよう 山門修繕落慶法要

11月5日（日）午前8時30分

晋山式実施に伴う伽藍整備の一環として
山門修繕の大工事が行われました。

皆様のご寄進により無事に完成いたしました。
観昌寺の兼務住職として長年にわたり
ご尽力いただきました名古屋大須の大光院様を
導師としてお迎え落慶の法要を厳修致します。



にゅういんしんさんしき 入院晋山式

11月5日（日）午前8時30分

晋山式の「晋」は 進む、「山」は お寺のことを意味します。

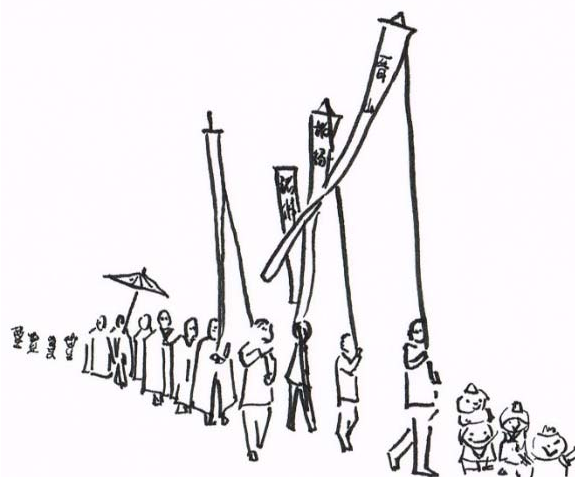
つまり晋山式は、曹洞宗管長様より新たに住職に任命された僧侶が、
はじめてお寺に進み住む就任の儀式のことです。

ちごぎょうれつ 稚児行列

多数の檀信徒、御寺院の出迎えの中、新命は
お稚児さんと共に観昌寺の山門に到着します。

お稚児さんは本堂前で、稚児灌頂師より、健やかな
成長を祈って灌頂をいただきます。

特別な役を頂いた役稚児さんは本堂の中に入り、
これからの儀式に備えて、花びらを撒き、道場を
浄める散華をします。



稚児行列は4月に募集を開始する予定です。

役稚児さん20名、一般稚児200名ほどを募集し、

11月5日（日）は朝7時から平田寺様で衣装に着替え、8時30分に十所社を出発、

観昌寺山門をくぐり、本堂前でお参りし、西門から解散となります。その後、平田寺様で
着替えていただき、記念品を配布します。終了は11時を予定しています。

さんもんとうちやく
山門到着

11月5日9時

新命は山門での挨拶をして、
出迎えた僧侶とともに、
大播の太鼓が鳴る中を、
本堂へ向かって歩いて行きます。



新命は、ご本尊様に着任の挨拶をし、次いで土地神様、
達磨大師様、
歴代住職様に挨拶をし、
世界の安寧、皆様の幸せ・健康・繁栄をお祈りいたします。
そして、これから住む居室に案内され、
寺印を受領し(抛室・視篆)、この寺の住職となります。



しん さん かい どう
晋 山 開 堂

11月5日(日)午前9時30分

引き続き、新命は寺院を広く世間に向け放ち、
当観昌寺の仏法興隆をお祝いし、住職就任を披露します。

まず、木版の音が鳴り響き、晋山開堂の開始を告げます。
諸老師は須弥壇(法座)に向かい挨拶します(空座問訊)。
諸老師に引き連れられた新命が本堂に現れ、須弥壇に登ると、
香が焚かれ、お釈迦様をはじめ代々の祖師様方、
歴代住職様に報恩感謝の誠を捧げます。
次いで檀信徒各家先祖代々の精霊に供養し、
皆様の幸せ・健康・繁栄を祈念いたします。
そして、新命の問答が始まります。



その後、須弥壇から下座し、諸尊宿老師の方から祝辞を頂き、
晋山開堂の儀式は終了いたします。

かいさんれきじゅうほうおんふぎん 開山歴住報恩諷経

11月5日（日）午前11時

観昌寺のご本寺様で、今回の晋山式において西堂老師を務めていただく
平田寺様を導師として迎え、開山歴住報恩諷経を厳修致します。

だんしんときふしゃそうえこう 檀信徒寄付者総回向

11月5日（日）午前11時30分

檀信徒寄付者各家の先祖代々のご供養の法要です。新命が「緋の衣」を着けて、
初めて檀信徒の方々の前に現れ、導師を務めます。
皆様と一緒に、先祖代々の精霊に供養し、さらに、参加者一同の幸せ・健康・繁栄を祈念し、
さらに山門の繁栄を祈念いたします。

しゅそほっせんしき 首座法戦式

11月5日（日）午後1時

結制修行で、修行僧の先頭に立つ「首座」の大切な儀式が
「首座法戦式」です。これは、お釈迦様が霊鷲山において
弟子の摩訶迦葉尊者に自分の座を譲り説法を許されたとい
う故事にならって行われる儀式です。

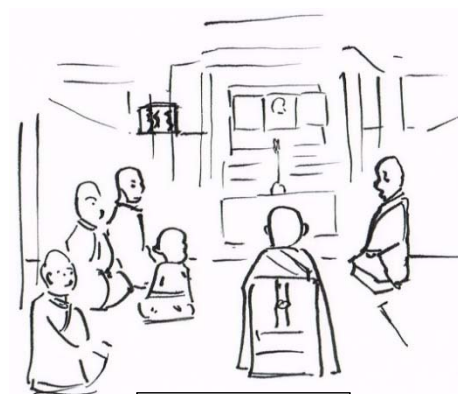
首座が禅の修行について問答を交わします。

大勢の御寺院様、参拝者の前で力量を披露する儀式で、
曹洞宗の僧侶としての大切な儀式の一つです。

法戦式の開始を告げる木版ののち、御寺院様が上殿、
般若心経を読み、厳かに儀式は始まります。

次に弁事を勤める観昌寺の長男が法問の主題を読み上げます。

首座はまず、この法戦式にのぞむ自分の決意を述べ
(拈竹篋)、真剣勝負の勇ましい問答が繰り広げられます。



般若心経



ねんしつぺい
拈竹篋

その後、随喜御寺院様からの祝語をいただき、首座法戦式の儀式は終了いたします。

すべての行持がこれで終了となります。

最後に、誠に恐縮に存じますが、引き続き、晋山式にむけてのご寄付をお願いしております。

皆様のご芳志ご配慮お力添えを伏して懇願申し上げます。

既にお納めしていただきました皆様、誠にありがとうございました。

行持内容は都合により変更される場合があります。

あらかじめご了承の上、ご覧ください。

2017年1月 観昌寺 作成

〒481-0041

愛知県北名古屋市九之坪庚申前 25 番地

曹洞宗 観昌寺

住職 丹羽宏明

TEL 0568-48-6515

✉ info@kanshouji.jp

<http://kanshouji.jp>